

# 基本概要

南部科学工業園区(以下、南科と略称)は1995年5月に行政院の許可を得て設置されました。ここに、台湾南部のハイテク産業発展の歩みが始まりました。長い間、台湾の科学技術業界の問題であった「北高南低」は解決され、同時に台湾南部の特徴を活かし、「生産」、「生活」、「生態」、「生命」の「四生共栄」の優れた科学園区が作りあげられました。発展をとげた南科の先端産業は、台湾内部でトップの地位を占めるとともに、台湾産業界の多様な発展と興隆に大きな役割を果たしています。現在、南科は台南園区と高雄園区に分かれています。

台南園区は台南県の新市、善化、安定の3郷の間にあり、面積は1,038ヘクタールに及びます。現在、TFT-LCD(平面ディスプレイ)、集積回路、太陽エネルギー、精密機械、バイオテクノロジー等を中心とする入居企業が産業クラスターを形成し、サプライチェーンも整っています。外部との交通ネットワークも整備され、国道8号線と国道1号線の新市インターチェンジ、省道台1号線と台19号線にも近く、鉄道は新市駅と善化駅だけでなく、近い将来には南科駅が置かれる予定であり、台湾新幹線高鉄(HSR)台南駅までも早くて便利なシャトルバスが運行されるなど、高い利便性を誇っております。

高雄園区は高雄県の路竹、岡山と永安の3郷の間にあり、面積は570ヘクタールで、現在は医療器材、クリーンエネルギー及び通信産業が主要産業となっております。高雄園区外部との交通は、地理的条件にも恵まれ、陸海空運ともに、高いレベルにあります。省道台1号線が園区を通り、中山高速道路(国道1号線)との連絡道も2009年3月3日に開通しました。鉄道は路竹駅と岡山駅があり、将来的には高雄MRTの赤らも路竹まで延長され、高雄市内から園区までの距離は大幅に短縮される予定です。小港国際空港まで約30KM、高雄港まで約25KMであり、国際運輸の面ではほかの園区にない圧倒的に優位な環境にあります。



台南園区交通マップ



高雄園区交通マップ